

秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町

(報道関係各位)

令和6年10月15日

秩父地域1市4町と足立区との間で 治水・防災に関する協定を締結しました

秩父地域1市4町（秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町）と東京都足立区とは、令和6年10月12日に治水及び防災に関する協定を締結しました。

政府は、気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域治水（流域全体で行う総合的・多層的な水災害対策）を推進しています。この考えに基づき、荒川放水路通水100周年にあたる本年、荒川上流域に位置する秩父地域と下流域に位置する足立区とは、2つの協定を締結することに合意しました。協定の概要は次のとおりです。

1 治水協定（荒川治水向上の連携協力に関する協定）の概要

- ・流域治水の考えに基づき、水源涵養機能を有し水害防止に寄与する上流域の森林整備を進める。
- ・足立区は森林環境譲与税を活用し、荒川上流域の森林管理の費用の一部を秩父地域1市4町に提供する。秩父地域は治水の啓発品（間伐材で製造した鉛筆）を足立区に提供し、足立区内の小学生に配布する。

2 防災協定（災害時における相互応援に関する協定）の概要

足立区、秩父地域のいずれかに大規模災害が発生した際に相互応援を行う。

主な内容は次のとおり。

- ・被災者救出等に必要な物資及び食糧品・飲料水等の提供
- ・避難者の一時収容施設の提供
- ・被災者の応急救助、復旧・復興に従事する職員の派遣

なお、協定締結式は開催せず、協定書を相互に取り交わすことにより、10月12日に協定締結を完了しました。

秩父市総合政策部総合政策課 担当：金田

☎0494-22-2823

FAX：0494-24-7272



逸見織物の歴史展を開催します！

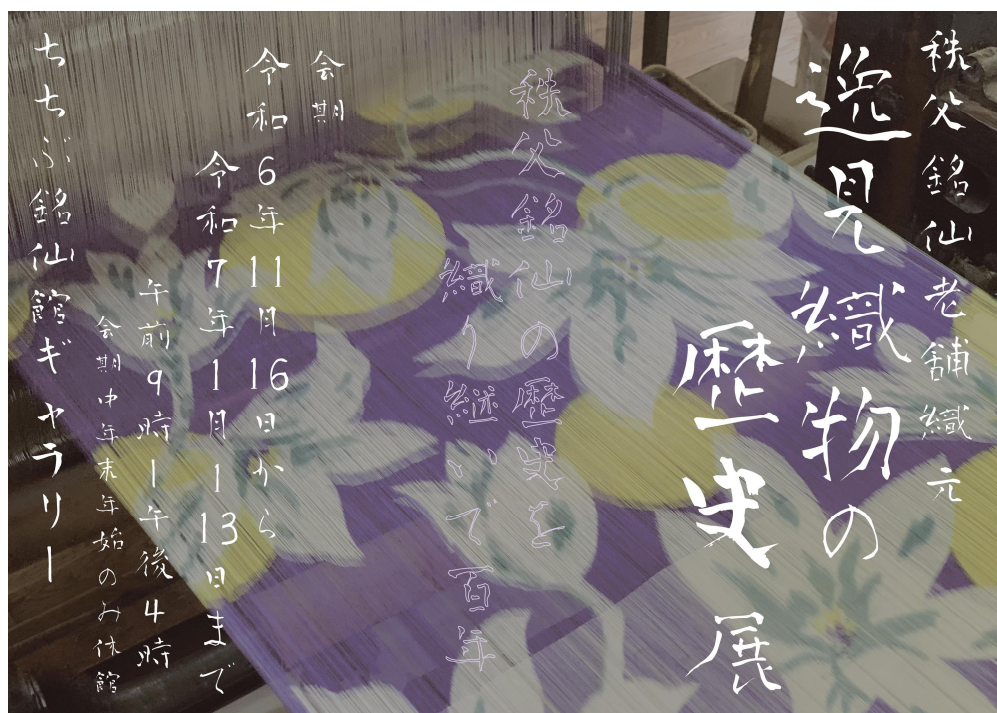
【strong point/ここが言いたい！】

令和5年10月に地域おこし協力隊として着任した篠原 順一（しのはら じゅんいち）隊員企画！秩父銘仙の老舗織元である逸見織物の歴史を、反物や着物の展示とともに紹介いたします。

●日時：令和6年11月16日（土）～令和7年1月13日（月・祝）いずれも9時～16時まで

※会期中、年末年始（12/29～1/3）のみ休館

●場所：ちちぶ銘仙館ギャラリー



篠原隊員Instagram

【next plan/今後の事業展開】

今後もさまざまなテーマの展示を実施していく予定です。詳細は篠原隊員のInstagram等で発信していきます。

産業観光部産業支援課

担当者：井上、篠原

☎：0494-25-5208

FAX：0494-25-0136



秩父市イメージキャラクター
ポテくん



支援機関向け「秩父地域事業承継セミナー」を開催します

【strong point/ここが言いたい!】

当市では事業承継施策を地域関係機関の皆さまと連携して行っていきながら、「秩父地域で廃業する事業者を1社でも減らすことができれば」を合言葉に取り組んでまいります!

●日時：令和6年11月14日(木) 13時~17時

●場所：埼玉県秩父地域振興センター(秩父市東町29-20)

●内容：1市4町の自治体担当職員、秩父商工会議所、各町の商工会、金融機関等の関係機関の支援員向けのセミナーおよびワークショップによる研修会を実施します。事業承継に関する見識を深め、関係各所が情報交換や連携することにより事業承継に対する機運を醸成することを目的とします。

●参加機関：下記の表は参加予定の一覧です。

	属性	名称
1	自治体	埼玉県、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町
2	商工会議所	秩父商工会議所
3	商工会	荒川商工会、皆野町商工会、長瀬町商工会、西秩父商工会
4	金融機関	埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、埼玉信用組合、東和銀行、足利銀行、飯能信用金庫、日本政策金融公庫
5	支援機関	独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部、埼玉県事業承継・引継ぎ支援センター、埼玉県商工会連合会
6	関係機関	FIND 秩父(事業承継分科会)

【next plan/今後の事業展開】

今後も、秩父地域内で事業承継に関する情報交換を行い、事業承継の相談会を定期的を開催できるよう関係機関と連携を強化していきます。

産業観光部産業支援課

担当者：桑畑

☎：0494-25-5208

FAX：0494-25-0136



秩父市イメージ
マーケティング
センター
ポテくん



吉田よいとこ祭の開催！

地域が主体となった手づくりのイベント「吉田よいとこ祭」を開催します。
メインイベントでは、アキラ100%も来る！

【strong point/ここが言いたい！】

秋の深まりを感じる時期に、5年ぶりに地域が主体となった手づくりのイベント「吉田よいとこ祭」を開催します。

ステージでは、午前10時からの寄せ太鼓に始まり郷土芸能の披露、文化展の開催、メインイベントでは、創作和太鼓集団「鬼太鼓座」のステージショーやアキラ100%も出演します！

吉田の味や特産品を集めた山村の味コーナー、警察車両・消防車両の展示、ふわふわなど子どもが遊べるレクリエーションもあります。



■開催日時 令和6年11月4日（月・休）午前10時00分～午後2時30分

■会場 吉田取方総合運動公園

■主催者 吉田よいとこ祭実行委員会

吉田総合支所地域振興課

担当者：笠原

☎0494-72-6083

FAX：0494-77-1529





全国植樹祭に向けた講演会

【strong point/ここが言いたい!】

日時 令和6年12月20日(金) 13:40~14:30

会場 吉田中学校 多目的室

住所 秩父市下吉田6402番地

講師 金子 真治 様(金子製材(株)代表取締役社長)

※県および市の植樹祭担当者も参加予定。

- 講演内容(予定)
- ①全国植樹祭とは何か。
 - ②天皇陛下の参加等、どういう意味のあるイベントなのか。
 - ③ミューズパークでの全国植樹祭にて、どのようなことが行われるのか。等

※全校生徒を対象とした講演会です。

吉田中学校

担当者: 教頭 梅沢

☎0494-77-0015

FAX: 0494-77-0027



秩父市イメージキャラクター
ポテくん

2024年10月29日

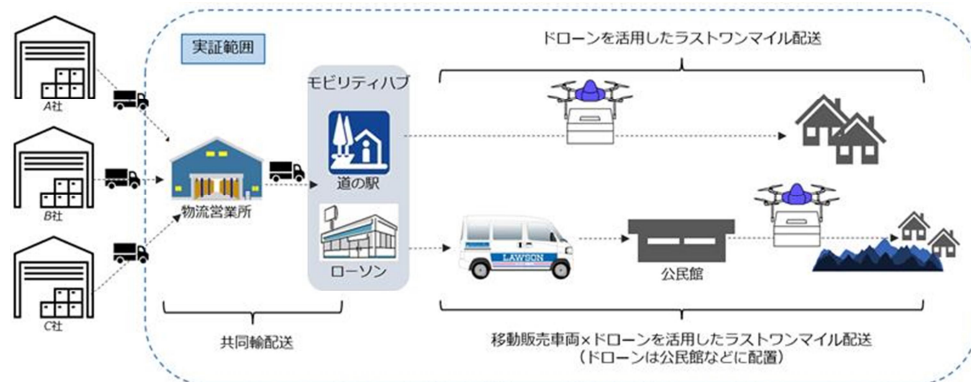
<報道発表資料>

KDDI 株式会社
KDDI スマートドローン株式会社
株式会社ローソン
一般社団法人ちちぶ結いまち
埼玉県秩父市

秩父市でローソン店舗を活用したドローン配送の実証実施 ～環境省の事業に採択、物流業界の課題解決と CO2 排出量の削減を目指す～

KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：高橋 誠、以下 KDDI）、KDDI スマートドローン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：博野 雅文、以下 KDDI スマートドローン）、株式会社ローソン（本社：東京都品川区、代表取締役社長：竹増 貞信、以下 ローソン）、一般社団法人ちちぶ結いまち（本社：埼玉県秩父市、代表理事：深田 雅之、以下 ちちぶ結いまち）、埼玉県秩父市（市長：北堀 篤、以下 秩父市）の5者（以下5者）は、2024年10月2日に、環境省の「令和6年度運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業」において、提案した「モビリティハブで実現する共同配送とドローン活用によるCO2削減（注1）」の取り組み（以下本実証）が採択されたことをお知らせします。

本実証では、2025年1月以降（予定）に秩父市において、物流営業所から配送される荷物をローソン店舗や道の駅などの中継拠点（以下モビリティハブ）に一時集約します。モビリティハブからは、ドローンでの直接配送や、ローソンの移動販売車両の活用により、ローソンの商品も含めて個人宅までのラストワンマイルを配送します。また、本実証のドローンは、モバイル通信を利用した遠隔自律飛行で行われ、秩父市の山間部などの電波の届きにくい一部エリアについては、衛星ブロードバンド Starlink の活用によりモバイル通信環境を確保します。



<本実証のイメージ>

ドローンを活用した配送は、人手不足が深刻化する物流業界の省人化と、買い物困難者へのラストワンマイル配送の実現が期待されています。また、日本のCO2排出量の約2割（注2）を占める物流業界において、少量の荷物でも効率的な配送が可能なドローンの活用により、CO2削減も期待されています。

今後5者は、本実証の効果を検証して有効性を評価し、2025年度以降のさらなるユースケースの検討およびドローン配送の複数エリアへの拡大を目指します。

詳細は別紙をご参照ください。

■背景

- ・秩父市では、災害発生時や観光渋滞などにより、日常生活における生活交通・物流などの生活インフラの維持が困難という課題を解決すべく、2020年11月から、物流・公共交通ネットワーク「秩父モデル」構築へ向けて、共同配送（注3）の取り組みを進めています。
- ・秩父市の中山間地では、少子高齢化の進展が著しく、生産年齢人口も年々減少傾向にあります。特に物流業界においては、配送トラックのドライバー不足が顕著となっています。
- ・中山間地では、人口減少に伴い配送荷物の量も年々減少しており、トラックの積載率も低下傾向となるため、1個あたりの配送コストが肥大化する課題が生じています。また、面積が広く集落が点在する地域では、トラックの1日の移動距離も長くなる傾向があり、配送効率を悪化させる要因の1つとなっています。
- ・こうした背景のもと、今回秩父市の協力のもと本実証を実施し、ドローンによる配送の社会実装に向けた取り組みを実施・推進していきます。

■本実証について

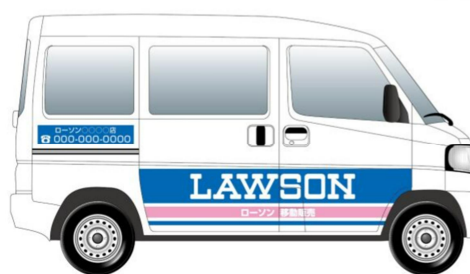
1. 概要

- ・秩父市で実装されている共同配送と組み合わせ、ローソン店舗や道の駅などをモビリティハブとして活用します。
- ・モビリティハブからは、ドローンで個人宅まで直接配送するほか、ローソンの移動販売車両を活用し、移動先からドローンで個人宅へのラストワンマイル配送を行います。
- ・ドローンは、モバイル通信を活用した遠隔自律飛行を行います。電波の届きにくい一部エリアにおいては、衛星ブロードバンド Starlink で通信環境を確保して自律飛行を行います。
- ・本実証では、実施地区でその効果を検証、有効性を評価し、他地区への拡大を検討します。また、秩父市浦山地区の物流配送で年間排出されるCO2を約6割削減することを目標とします。

2. 使用機体・移動販売車両



<本実証で活用予定のドローン：PD 6 B-Type3>



<ローソンの移動販売車両イメージ>

3. 実施地区

埼玉県秩父市浦山地区

4. ドローン配送ルート想定

ローソン店舗および移動販売車両から配送

5. ドローン飛行開始時期

2025年1月以降（予定）

6. 本実証における各者の役割

代表者	KDDI	<ul style="list-style-type: none">・事業全体の企画・統括・Starlink を活用した電波不感地帯のエリア化
共同実施者	ローソン	<ul style="list-style-type: none">・ローソン店舗および郊外へのラストワンマイル配送・ドローン導入効果のビジネス検証
	ちちぶ結いまち	<ul style="list-style-type: none">・共同配送導入に向けたビジネス検証および各種調整・他地域展開に向けたビジネスモデル化検討
	KDDI スマートドローン	<ul style="list-style-type: none">・ドローン運航、システム開発・ドローン配送実装モデル検証
協力者	埼玉県秩父市	<ul style="list-style-type: none">・飛行フィールドの提供・地域住民および関係者への説明

(注1) 令和6年度運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業の一次公募結果（分野2）について
(https://www.env.go.jp/press/press_03791.html)

(注2) 国土交通省 運輸部門における二酸化炭素排出量
(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html)

(注3) 共同配送サービスの実施と、貨客混載による買い物支援実証実験 (<https://www.city.chichibu.lg.jp/10478.html>)

以上

【報道機関お問合せ先】

KDDI 株式会社 広報部 TEL：03-6678-0690

KDDI スマートドローン株式会社 TEL：

株式会社ローソン 広報部 TEL：03-5435-2773

一般社団法人ちちぶ結いまち TEL：0494-33-9071 Mail：info@c-yuimachi.com

埼玉県秩父市 産業観光部 先端技術推進課 TEL：0494-21-5522



第75回全国植樹祭カウントダウンボードを設置します

令和6年11月6日(水)、全国植樹祭200日前からカウント開始

【strong point/ここが言いたい!】

令和7年5月25日(日)に秩父ミュージズパークを主会場として開催される第75回全国植樹祭をPRするため、秩父市オリジナルのカウントダウンボードを作成し、本庁舎エントランスへ設置することとなりました。

この度、下記のとおり除幕式を行うこととなりましたのでご案内します。

<カウントダウンボード除幕式>

と き 令和6年11月6日(水)

午前11時～(10分程度)

ところ 秩父市役所本庁舎エントランス

内 容 除幕式・記念撮影

出席者 秩父市長 北堀 篤、副市長 石関 千春、

教育長 前野 浩二



■カウントダウンボードデザインイメージ

<カウントダウンボードについて>

- ・材質：アルミ複合板(デジタル式カウント表示器埋め込み式)、鋼材フレーム
- ・寸法：幅1m×高さ1.4m×奥行約1.2m(フレーム全体)
- ・デザイン：市がこれまで作成した横断幕や看板等で使用した統一デザインに秩父市イメージキャラクターのポテくまとぶめるちゃんを加え、親しみの持てるデザインとしました。
- ・小さなお子さんが楽しめる「顔出しパネル」仕様となっています。
- ・基本的にエントランスへの常設となりますが、イベント会場への設置など幅広く活用していきます。

【next plan/今後の事業展開】

市では、今後も第75回全国植樹祭の開催機運の醸成を図るため、各種広報事業・関連企画、記念イベント(100日前記念イベント等)を実施していきます。

農林部全国植樹祭準備室

担当者：宮前

☎0494-22-2816(直通)

FAX：0494-22-2603

